

アルコール健康障害対策基本法 推進セミナー（第3回）

日時▶ 2018年1月20日(土)13:20~16:15
会場▶ 大田区立消費者生活センター大集会室(東京都大田区)
内容▶ 講演「アルコールとがん」横山顕(久里浜医療センター医師)、当事者・家族・援助者の体験発表
参加費▶ 一般2000円(当事者・家族1000円)
問い合わせ先▶ 駒木野病院：宮脇真一郎
☎042-663-2222

精神科認定看護師の会 関東ブロック研修会

日時▶ 2月10日(土)9:00~16:00
会場▶ 日本精神看護協会(東京都港区)
テーマ▶ 実践者としての精神科認定看護師の視点
内容▶ 「看護実践の視点と方法の捉えかた」田邊友也、「実践とマネジメントの連結」辻脇邦彦、トークセッション
参加費▶ 会員無料、非会員2000円(当日徴収)
申込方法▶ 下記の必要事項を記入のうえ、担当(長嶺)までE-mailで申し込む。
 ①認定看護師の会への加入の有無(認定看護師の会の加入希望者はその旨記載)、②氏名、③支部名、④施設名、⑤メールアドレス、⑥紹介者がいる場合は全員のフルネームと所属、⑦合計人数、⑧連絡先電話番号
申込締切▶ 1月10日(必着)
問い合わせ先▶ 精神医学研究所附属東京武蔵野病院：長嶺真智子
 E-mail：eyesofyoung0831@yahoo.co.jp
☎090-7747-0841

日本訪問看護財団 精神障がい者の在宅看護セミナー

【東京】
日時▶ 2月16日(金)~18日(日)
会場▶ 浅草橋ヒューリックホール2階ホール(東京都台東区)
内容▶ 「精神保健福祉の現状と動向」佐々木彩、「精神科訪問看護の動向と制度活用」「介護する家族支援について」寺田悦子、「地域で支えるための社会資源と制度の活用」遠藤真史、「精神疾患と治療について」近藤直司、「精神科訪問看護の基礎」「日常生活の援助のポイント」萱間真美、「医療継続」「対人関係の援助」「精神科訪問看護の実践」富川順子
対象▶ 保健師、看護師、准看護師、作業療法士
受講料▶ 会員2万円、非会員4万円
申込方法▶ 財団ホームページ(<http://www.jvnf.or.jp/kyouiku/kensyu.html>)の研修申し込みフォームより
問い合わせ先▶ 日本訪問看護財団研修担当
☎03-5778-7005(平日9:00~17:30)

関東甲信越アルコール関連問題学会 埼玉大会(第1回)

日時▶ 2月18日(日)9:50~17:00
会場▶ ウェスタ川越(埼玉県川越市)
内容▶ 記念講演「これからの依存症・アディクション治療の展望」樋口進、特別講演「発達障害を基盤にもつアルコール依存症患者の見分け方と対応」宮田久嗣、「大阪方式からみたアルコール依存症の望ましい地域連携のあり方」辻本土郎、教育講演「アルコール依存症の看護を考える一患者さまの学びから」澤澤博一、会長講演「アルコール依存症治療革命—新たな依存症治療のあり方」成瀬暢也、シンポジウム「関東甲信越各都県からの現状報告とトピックス」各都県から、「新時代のアディクション支援について考えよう」朝倉崇文・田亮介・小林桜児・佐藤拓・大槻元・辻本俊之・今成和美・田中紀子、ワークショップ「家族支援の総合アプローチ」高橋郁絵・近藤あゆみ・森田展彰
参加費▶ 事前申込：会員2000円、非会員3000円、当日参加：会員3000円、非会員4000円、学生・当事者・家族1000円
申込方法▶ 大会ホームページ(<http://saitama-j-arukanren.com/>)の申込フォームより
事前申込・支払締切▶ 2月2日
問い合わせ先▶ 埼玉県立精神医療センター内大会事務局
☎048-723-1111(代)
 E-mail：n231111z@pref.saitama.lg.jp

日本外来臨床精神医学会(第18回学術大会) 内田クレペリン精神検査研究会との合同開催

日時▶ 2月18日(日)10:00~17:00(受付9:30)
会場▶ 東京慈恵会医科大学高木二号館B1F南講堂
テーマ▶ 精神科リハビリテーションの新たな展開—共通指標の確立に向けて
内容▶ ランチョン講演：小山文彦、特別講演：内田桃人
申込方法▶ 学会ホームページ(<http://jcop.xsrv.jp/>)の問い合わせフォームより
問い合わせ先▶ 富士見メンタルクリニック内学会事務局
 〒354-0018 埼玉県富士見市西みずほ台1-21-4
☎049-257-4310(木日祝以外9:00~17:00)

日本心理教育・家族教室ネットワーク 第21回研究集会沖縄大会

日時▶ 2月23日(金)~24日(土)
会場▶ 沖縄県男女共同参画センター ていえる／パシフィックホテル沖縄(沖縄県那覇市)
内容▶ 基調講演「依存症とは何か—安心して人に依存できない病」松本俊彦、シンポジウム「地域精神医療の中で心理教育に求められるもの」渡邊真里子、トークライブ「心理教育は依存症にも役立つか!」宮川治ほか、分科会「子どものスポーツ環境を整えるための心理教育的アプローチ」梅崎高行ほか、「家族心理教育とは? (初心者向け)」香月富士日、「WRAPで沖縄を楽しもう!」坂本将志、「感情調節が困難な方の家族のための心理教育的支援」遊佐安一郎、「沖縄県内の発達障害

児者に対する心理教育のこれまでとこれから」岡崎綾子ほか、「幼児期から青年期のライフステージに応じた、発達障害のある本人・家族への心理教育の実践」岩佐光章、「ピアサポーターとの協働」木村尚美、「心理教育の立ち上げ—地域ネットワーク構築とおひとりさまからの卒業」賛川信幸ほか、「うつ予防の集団認知行動療法」仲本晴男、「心理教育をたいけんしてみよう—家族・当事者が主役になってみんなでワイワイと取り組もう」土屋徹、「初心者のための統合失調症心理教育入門(専門職向け)」内野俊郎

参加費▶事前登録：会員7000円、非会員8000円、家族・学生2000円、当事者1000円、懇親会5000円
申込方法▶研究会ホームページ(<https://jnpf-oki2018.jimdo.com/>)の参加申込フォームより

申込締切▶1月23日(火)

問い合わせ先▶天仁会天久台病院内事務局
〒900-0005 沖縄県那覇市天久1123
E-mail: jnpf2018@gmail.com

日本アルコール看護研究会大分大会(第28回) 九州アルコール看護研究会(第13回)

日時▶2月23日(金)~2月24日(土)

会場▶別府ビーコンプラザ(大分県別府市)

テーマ▶和きあがるアルコール看護のチカラ。28年目の絆といやし

内容▶基調講演/シンポジウム/初任者研修/ポスターセッション/認定看護師企画

参加費▶事前受付6500円、当日7000円、懇親会7000円

申込方法▶研究会ホームページ(<http://jalnsrs.kenkyuukai.jp/information/>)の申込フォームより

問い合わせ先▶淡窓会大分友愛病院内大会事務局：久積・川本

〒877-0062 大分県日田市上野町1-1

☎0973-23-5151

FAX 0973-23-5115

集団認知行動療法研究会 第29回基礎研修会 大阪

日時▶2月25日(日)9:30~16:30

会場▶大阪府立大学I-site なんば(大阪市浪速区)

内容▶基礎研修会共通プログラム「集団認知行動療法とはなにか」「プログラムの運営について」「認知への介入」「行動への介入」

対象▶医療・看護・福祉・心理・保健・産業・司法矯正分野等で、援助業務に携わっている専門家で、守秘義務について監督される機関で研修歴・勤務歴のある人

参加費▶会員3000円、非会員6000円

申込方法▶研究会ホームページ(<http://cbgt.org/news/1432>)の申込フォームより

問い合わせ先▶研究会事務局

〒141-8625 東京都品川区東五反田5-9-22

E-mail: cbgtajimu@gmail.com

日本社会精神医学会(第37回)

日時▶3月1日(木)~2日(金)

会場▶京都テルサ(京都市南区)

内容▶特別講演「人はなぜ依存症になるのか—依存症と環境・社会」松本俊彦、特別招待講演「依存症とともに生きる」田代まさし・倉田めば、招待講演「職場のメンタルヘルスと法—発達障害? パーソナリティ障害?」三柴丈典、「産業保健活動で求められる精神科医との連携」森崎美奈子、会長講演「高次脳機能障害への精神科医の貢献—特に社会的行動障害について」村井俊哉、教育講演1「行動嗜癖とその治療—ギャンブル障害を中心に」田辺等、2「認知症と自動車運転—改正道路交通法施行1年後の現状と社会精神医学への影響」上村直人、3「現代社会とスピリチュアルケア—マインドフルネスとスピリチュアリティの視点から」井上ウィマラ、4「社会における性別違和」康純、5「精神科臨床になぜ“文化”という視点が必要なのか—文化精神医学再考」江口重幸、6「公認心理師は、社会精神医学にどのように貢献できるか—治療ギャップを超えるための役割を探る」下山晴彦、ほか

申込方法▶学会ホームページ(<http://jsssp37.umin.jp/participant.html>)の受付フォームより

申込締切▶2月9日(金)

問い合わせ先▶インターグループ内運営事務局

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル

☎06-6372-9345

E-mail: jsssp37@intergroup.co.jp

メンタルヘルスの集い(第32回日本精神保健会議) 呉秀三「精神病患者私宅監置ノ実況及び 其統計的観察」刊行100周年記念

日時▶3月3日(土)10:00~16:00

会場▶有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11F)

テーマ▶“二重の不幸”から100年—わが国の精神医療がたどった道とこれから

内容▶ドキュメンタリー映画「夜明け前—呉秀三と無名の精神障害者の100年」(予告編)、対談「日本の精神医療における呉秀三先生の業績(仮)」岡田靖雄・橋本明・広瀬徹也、シンポジウム“二重の不幸”から100年—わが国の精神医療がたどった道とこれから」樋口輝彦・山本輝之・田中秀一・山本深雪・柏木一恵・夏苺郁子・藤井克徳

参加費▶無料(事前予約不要、先着600名)

問い合わせ先▶日本精神衛生会

☎03-3269-6932

E-mail: z-seisin@dc4.so-net.ne.jp

日本 ADHD 学会(第9回総会)

日時▶3月3日(土)~4日(日)

会場▶東京医科大学病院6階臨床講堂ほか

内容▶特別講演「現在の発達障害の意義と問題点」、会長講演「発達障害の遺伝学的解析と治療法開発」、教育講演「発達障害の小児に対する学習支援」、シンポジウム「ペアレントトレーニングを中心とした臨床心理学

的対応」「ADHDの思春期から成人期にかけての対応」「ADHDの基礎研究の進展」、最新情報「ADHDとICD-11」

一般演題募集締切▶1月8日(月)

問い合わせ先▶学会事務局

☎03-5367-2382

E-mail: secretariat@js-adhd.org

学会URL: <http://www.js-adhd.org/>

看護のための認知行動療法研究会

■東京セミナー

「マインドフルネスを体験する」

日時▶3月10日(土)10:00~15:00

場所▶NTT東日本関東病院トレーニングラボ室

内容▶「認知行動療法の基礎」岡田佳詠、「マインドフルネスを体験する」彩美先

※先着30名まで

参加費▶会員2000円、非会員3000円

※午前あるいは午後のみ: 会員1000円、非会員2000円

■名古屋セミナー

「不眠の認知行動療法」

日時▶3月24日(土)13:30~16:30

場所▶名古屋市立大学看護学部3階301室

内容▶「認知行動療法の基礎」岡田佳詠、「不眠の認知行動療法」香月富士日

参加費▶会員2000円、非会員3000円

【共通】

申込方法▶研究会ホームページ(<http://www.cbtns.com/>)の申込フォームより

問い合わせ先▶岡田佳詠

E-mail: info@cbtns.com

日本不安症学会(第10回)

日時▶3月16日(金)~17日(土)

会場▶早稲田大学東伏見キャンパス(東京都西東京市)

内容▶基調講演「日本の不安症—江戸期から未来を見すえた現代まで」貝谷久宣、会長講演「心身相関軸から不安に介入する—リラクゼーションとマインドフルネス」熊野宏昭、教育講演1「DSM診断基準における不安症の変遷」塩込俊樹、2「恐怖記憶の脳神経回路と不安症(仮)」関口正幸、3「不安症における治療反応性の予測と対策—脳イメージングと遺伝子検査をふまえて」亀古條太郎、4「神経精神薬理の知見に基づく不安症治療最前線(仮)」井上猛、5「認知行動療法は不安にどうアプローチするか(仮)」杉浦義典、シンポジウム5件、ワークショップ3件

参加費▶第1次登録期間: 医師・企業8000円、コメディカル5000円、学校教育関係者・学生(大学院生含む)3000円、懇親会5000円、第2次登録期間: 医師・企業1万円、コメディカル7000円、学校教育関

係者・学生(大学院生含む)4000円、懇親会6000円

申込方法▶学会ホームページ(<http://10.jpssad.jp/toroku.html>)の参加登録フォームより

申込締切▶第1次登録期間: 1月31日24時まで、第2次登録期間: 2月1日0時~2月28日24時まで

問い合わせ先▶インターグループ内運営事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館4F

☎03-5549-6909

E-mail: jsad10@intergroup.co.jp

日本統合失調症学会(第13回)

日時▶3月23日(金)~24日(土)

会場▶あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)(徳島県徳島市)

内容▶特別講演「統合失調症の妹と認知症の父を抱えて(仮)」盛田隆二、「地域活動特別報告」長野敏宏、「統合失調症を地域で支えるピアサポーターの役割(仮)」柳尚夫、「淡路島のピアサポート活動—現状と課題(仮)」柳尚孝、シンポジウム1「統合失調症の薬物療法と生命予後」古郡雄雄ほか、「統合失調症はどこまで治るか」松本和紀・藤井康男・矢田勇慈・笠井清登、「遺伝・遺伝子に関するシンポジウム」糸川昌成・夏苺郁子・館林牧子・尾崎紀夫、市民公開演奏会「統合失調症のピアノリストによる講演と演奏」横島若騎、ほか

申込方法▶学会ホームページ(<http://www.med-gakkai.org/jssr13/>)の事前参加申込フォームより

申込締切▶2月15日(木)

問い合わせ先▶メッド内事務局 担当: 金子

〒701-0114 岡山県倉敷市松島1075-3

☎086-463-5344

E-mail: jizen-jssr13@med-gakkai.org

国際思春期青年期精神医学・心理学会(第2回アジア地区大会) 日本思春期青年期精神医学学会(第31回年次大会)

日時▶6月29日(金)~7月1日(日)の3日間

会場▶千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市)

テーマ▶Meeting Adolescents in an Ever Changing World 変わり続ける世界で思春期と出会う

内容▶学術講演 Lois Flaherty・Anthony Bateman・小倉清、シンポジウム「なぜ思春期精神医学か、なぜ思春期精神衛生か、なぜISAPPか」「引きこもりについて」「アジアの思春期における臨床的問題は何か」、各国における青年期発達の問題、ワークショップ「事例検討」Anthony Bateman、口演発表(日本語15演題、英語10演題)、ポスター発表(英語20演題)

問い合わせ先▶たちメンタルクリニック内大会事務局
〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-6-26 上六光陽ビル6階

☎050-3501-7558

E-mail: jsap2018.osaka@gmail.com